

研究課題名	上腕骨小頭離断性骨軟骨炎の術後成績の調査
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科上肢機能解析制御科学 教授 砂川 融
研究期間	許可日 ~ 2026年 3月31日
対象者	2000年1月1日から2025年3月31日の間に、広島大学病院整形外科および林病院整形外科において上腕骨小頭離断性骨軟骨炎のために手術を受けられた患者さん。
意義・目的	<p>少年期の野球を主としたスポーツ障害の1つである上腕骨小頭離断性骨軟骨炎は、肘関節の外側部分の骨軟骨が障害され、痛みと動かしにくさが出現する病気で、スポーツ活動の継続が困難となり、将来的に変形性関節症に進行することがあります。病変の状態により手術が必要になります。手術には様々な方法がありますが、広範囲に広がった病変に対してどのような手術方法が良いのかについては解明されていません。今回、手術を受けられた患者さんのデータを詳細に解析することで疼痛の消失やスポーツ活動への復帰状況を調査し、手術療法の有効性を検討し、全ての患者さんが優れた機能回復を得るための方法を特定するために、この研究を計画しました。より良い手術方法を開発することができれば、患者さんがより早く快適な日常生活、スポーツ活動に戻れることや将来的な変形性関節症への進行予防が可能になることが期待されます。</p>
方法	<p>本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。 カルテから転記する内容は性別、年齢、利き手、身体所見、画像所見です。（個人が特定出来る情報は転記しません）</p> <p>カルテから氏名や住所等個人を特定できる情報を削除した上で、広島大学にパスワードロックを施した上でメール送付し、解析します。</p>
外部への情報の提供	広島大学より他機関への提供はありません
利用または提供を開始する予定日	広島大学における実施許可日（2021年4月16日）
試料・情報の提供機関	機関名 林病院 責任者名 高田 治彦（研究機関の長：林 淳二）
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科上肢機能解析制御科学 教授 砂川 融
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5232 広島大学病院整形外科 助教 兒玉 祥（担当者）</p>